平成 19 年３月期　第３四半期財務・業績の概況（連結）

平成 19 年 2 月 15 日

上場会社名　イー・レヴォリューション株式会社　（JASDAQ・コード番号：4233）
（ＵＲＬ　http://www.e-revolution.co.jp/）
問 合 せ 先　代表者役職・氏名　代表取締役社長　久保　亮三　ＴＥＬ：（03）5209－1152
責任者役職・氏名　取締役経営管理部長　高橋　修

１．四半期財務情報の作成等に係る事項

① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無　：　有
法人税等の計上基準及びその他の影響額が僅少なものについては、簡便な手続きを採用しております。
② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無　：　無
③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無　：　有
持分法（新規）２社（株式会社 SEEBOX、株式会社 DideoNET－JAPAN）

２．平成 19 年３月期第３四半期財務・業績の概況（平成 18 年４月１日　～　平成 18 年 12 月 31 日）

(1)　経営成績(連結)の進捗状況　(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	3,937	(　—)	△462	(　—)	△533	(　—)	△345	(　—)
18年3月期第3四半期	—	(　—)	—	(　—)	—	(　—)	—	(　—)
(参考)18年3月期	—	(　—)	—	(　—)	—	(　—)	—	(　—)

	1株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	△39	49	—	—
18年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考)18年3月期	—	—	—	—

（注）①平成 18 年３月期は、期末日が連結子会社の支配獲得日となり、財務諸表のうち貸借対照表のみが連結対象であるため作成しておりません。
②平成 18 年３月期第３四半期は、連結子会社がないため連結財務諸表は作成しておりません。

［経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等］

当第３四半期におけるわが国の経済は、企業収益の増加とそれに伴う設備投資の増加を背景として、景気は緩やかに進展しており、個人消費につきましても増加基調にありましたが、本格的な回復には至っておりません。

このような環境下、当社グループの主力市場であるカー用品業界においては、アフターマーケット縮小の影響を受け、当社グループも売上が減少するなど大変厳しい状況が続いております。この状況を打開するために、平成 18 年 12 月６日付で「平成 18～20 年度中期経営計画（企業再生計画）」を策定いたしました。グループ全体の事業領域とポジショニングの明確化を図るとともに人員削減も含めたコスト削減等の構造改革を進め、スリムな体制で収益を出せる企業体を目指しております。当社グループは、上記計画に基づくリストラクチャリングに着手しておりますが、当第３四半期においても、売上の低迷から、利益を確保するまでには至りませんでした。

以上の状況により、当第３四半期の業績は、売上高 3,937 百万円、営業損失△462 百万円、経常損失△533 百万円、四半期当期純損失△345 百万円となりました。

(2)　財政状態(連結)の変動状況　　(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	総　資　産	純　資　産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
19年3月期第3四半期	3,634	1,020	25.3	101　22
18年3月期第3四半期	―	―	―	―　―
(参考)18 年３月期	3,473	1,213	34.9	139　45

（注）平成 18 年３月期第３四半期は、連結子会社がないため連結貸借対照表は作成しておりません。

［財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等］

当第３四半期の財政状態は、総資産は前連結会計年度末に比べ、161 百万円増加して 3,634 百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少 130 百万円、受取手形及び売掛金の減少 314 百万円、たな卸資産の増加 402 百万円、投資有価証券の増加 143 百万円等によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ、353 百万円増加して 2,613 百万円となりました。その主な要因は、負ののれんの償却による減少 97 百万円、支払手形及び買掛金の増加 135 百万円、借入金の増加 384 百万円等によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ、193 百万円減少して 1,020 百万円となりました。その主な要因は、資本金の増加 27 百万円、資本剰余金の増加 27 百万円、利益剰余金の減少 345 百万円によるものであります。

その結果、自己資本比率も前連結会計年度末に比べ、9.6%減少し 25.3%となりました。

なお、当社グループは、平成 18 年３月期第３四半期は連結子会社がないため、平成 18 年３月期との比較を記載しております。

○　添付資料

（要約）四半期連結貸借対照表、（要約）四半期連結損益計算書など

以　上

[参　考]

平成 19 年３月期の連結業績予想（平成 18 年４月１日　～　平成 19 年３月 31 日）

平成 18 年 11 月 15 日に公表いたしました業績予想につきましては、厳しい環境もあり、現在、当社において、その内容を精査しており、業績予想の修正が必要となった場合、適宜、適時に開示してまいります。

〔添付資料〕

1．（要約）四半期連結貸借対照表

単位：千円（単位未満は切り捨て）

科　目	当四半期 （平成 19 年３月期 第３四半期末） 金　額	（参考） 平成 18 年３月期 金　額
（資産の部）		
Ⅰ 流動資産		
1．現金及び預金	304,060	434,360
2．受取手形及び売掛金	1,020,512	1,334,896
3．たな卸資産	1,382,181	979,624
4．その他	218,747	196,184
貸倒引当金	△106,464	△127,992
流動資産合計	2,819,037	2,817,073
Ⅱ 固定資産		
1．有形固定資産		
(1)建物及び構築物	137,310	141,610
(2)機械装置	884	983
(3)工具器具備品	61,447	104,500
(4)土地	133,110	133,110
有形固定資産合計	332,752	380,204
2．無形固定資産	12,400	16,860
無形固定資産合計	12,400	16,860
3．投資その他の資産		
(1)投資有価証券	320,265	176,464
(2)長期貸付金	20,726	20,489
(3)長期営業債権	250,861	221,642
(4)その他	156,926	91,916
貸倒引当金	△278,399	△250,863
投資その他の資産合計	470,380	259,649
固定資産合計	815,533	656,714
資産合計	3,634,571	3,473,787

単位：千円（単位未満は切り捨て）

科　目	当四半期 （平成 19 年３月期 第３四半期末） 金　額	（参考） 平成 18 年３月期 金　額
（負債の部）		
Ⅰ 流動負債		
1. 支払手形及び買掛金	873,698	738,257
2. 短期借入金	949,800	565,000
3. 未払法人税等	10,211	14,223
4. 賞与引当金	25,601	36,716
5. 返品引当金	144,124	189,339
6. その他	202,276	210,645
流動負債合計	2,205,713	1,754,182
Ⅱ 固定負債		
1. 繰延税金負債	9,134	9,864
2. 退職給付引当金	71,331	63,466
3. 役員退職慰労引当金	12,850	17,200
4. 負ののれん	302,735	400,555
5. その他	12,035	15,409
固定負債合計	408,087	506,496
負債合計	2,613,800	2,260,679
（資本の部）		
Ⅰ 資本金	―	952,480
Ⅱ 資本剰余金	―	756,484
Ⅲ 利益剰余金	―	△399,670
Ⅳ その他有価証券評価差額金	―	14,378
Ⅵ 自己株式	―	△110,564
資本合計	―	1,213,108
負債及び資本合計	―	3,473,787
（純資産の部）		
Ⅰ 株主資本		
1. 資本金	979,640	―
2. 資本剰余金	783,644	―
3. 利益剰余金	△744,746	―
4. 自己株式	△111,004	―
株主資本合計	907,534	―
Ⅱ 評価・換算差額等		
1. その他有価証券評価差額金	13,314	―
評価・換算差額等合計	13,314	―
Ⅲ 新株予約権	2,080	―
Ⅳ 少数株主持分	97,842	―
純資産合計	1,020,770	―
負債、純資産合計	3,634,571	―

（注）平成 18 年３月期第３四半期は、連結子会社がないため連結貸借対照表は作成しておりません。

２．（要約）四半期連結損益計算書

単位：千円（単位未満は切り捨て）

科　目	当四半期 （平成19年３月期 第３四半期） 金　額
Ⅰ 売上高	3,937,748
Ⅱ 売上原価	2,661,505
売上総利益	1,276,243
Ⅲ 販売費及び一般管理費	1,738,855
営業損失	462,611
Ⅳ 営業外収益	
受取利息	931
受取配当金	1,346
負ののれん償却額	126,728
その他	13,359
計	142,365
Ⅴ 営業外費用	
支払利息	12,975
手形売却損失	766
持分法投資損失	184,968
その他	15,030
計	213,740
経常損失	533,986
Ⅵ 特別利益	
前期損益修正益	110,373
持分変動益	65,106
その他	13,007
計	188,486
Ⅶ 特別損失	
リコール費用	1,305
貸倒引当金繰入額	5,957
移転費用	2,300
計	9,563
税金等調整前四半期当期純損失	355,062
法人税、住民税及び事業税	8,158
少数株主損失	18,146
四半期当期純損失	345,075

（注）平成18年3月期第３四半期は、連結子会社がないため連結損益計算書は作成しておりません。
平成18年3月期は、前連結会計年度末日である平成18年3月31日を連結子会社の支配獲得日とみなしており、貸借対照表のみを連結しているため連結損益計算書は作成しておりません。